

原子力防災訓練（冬季・暴風雪）の実施結果

1 実施日時

平成27年2月6日（金） 9:00～11:20

2 主 催

北海道、共和町 ※バス避難を基本としている、PAZ圏内の共和町と連携し実施

3 参加・協力機関

内閣府政策統括官（原子力防災担当）、原子力規制庁泊原子力規制事務所、国土交通省北海道開発局、気象庁札幌管区气象台、陸上自衛隊北部方面隊、北海道警察、岩内・寿都地方消防組合、北海道電力(株)

4 訓練想定

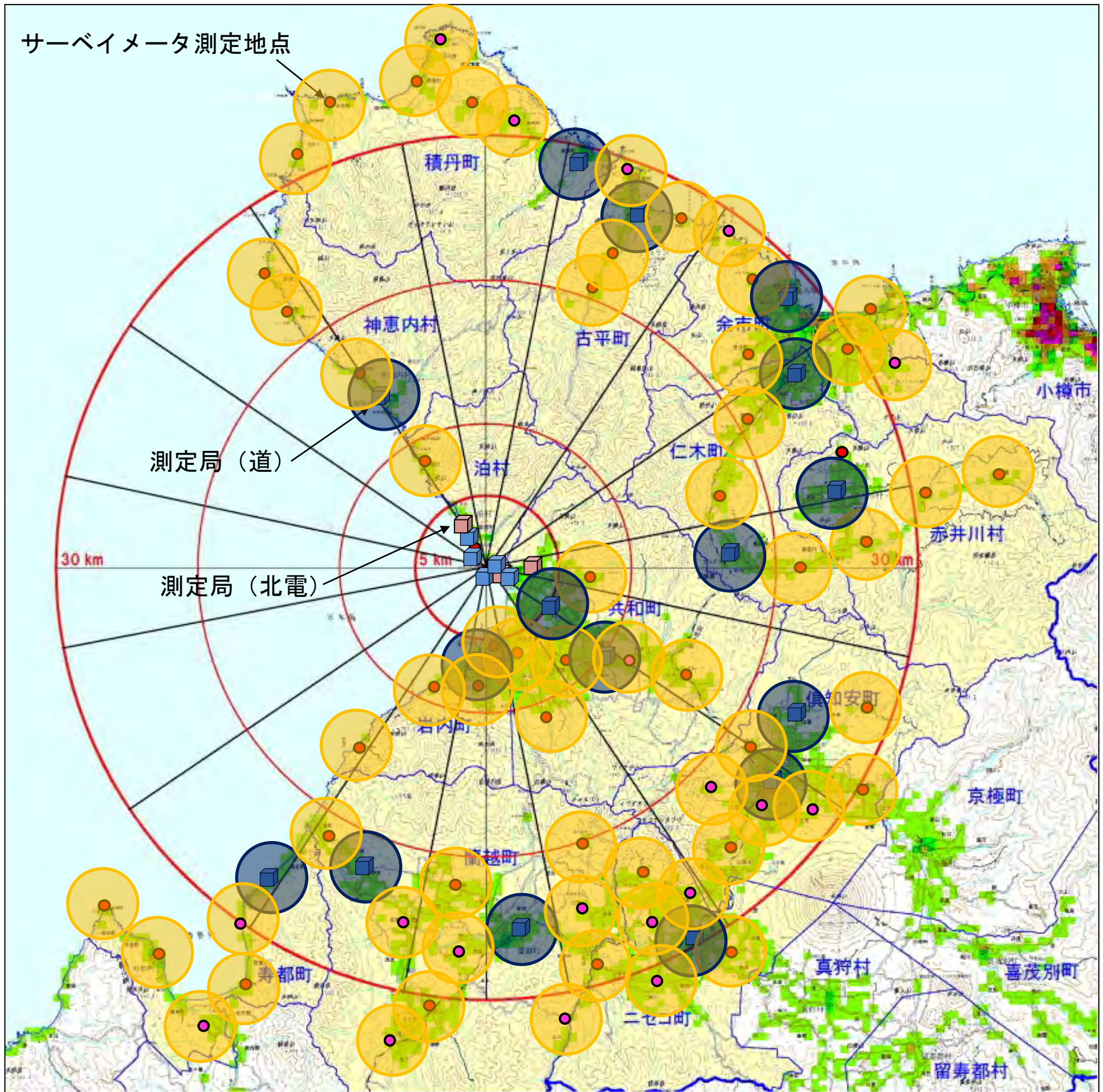
台風並みに発達した低気圧により、後志地方が前日から暴風雪に見舞われている中、運転中の泊発電所3号機において、何らかの事象により外部電源が喪失しプラントが停止。さらに非常用ディーゼル発電機などが使用できない状態が継続し、全面緊急事態に進展。（その後、非常用ディーゼル発電機が復旧し、放射性物質の放出までに至らず、事態は収束）

5 項目・内容

項 目	内 容
災害対策本部等 設置運営訓練	<ul style="list-style-type: none"> ■TV会議の開催による対策の協議 <ul style="list-style-type: none"> ・道と共和町が国に対し、暴風雪の状況における対応方針を協議 ■共和町災害対策本部等の設置・運営
緊急時通信連絡 訓練	<ul style="list-style-type: none"> ■事故情報の伝達 ■道によるオフサイトセンター機能の代行 <ul style="list-style-type: none"> ・今後の天候や避難経路の状況を確認し、関係機関と情報共有
広報訓練	<ul style="list-style-type: none"> ■防災行政無線や広報車を活用した住民広報
避難訓練	<ul style="list-style-type: none"> ■天候回復後のバス避難の実施 <参加住民 32人> <ul style="list-style-type: none"> ・住民集合場所等の除雪 ・安定ヨウ素剤の緊急配布及び服用 ・共和町バスによる避難所への搬送 ■大雪で孤立した住宅からの住民（要配慮者）の救出 <参加住民 1人> <ul style="list-style-type: none"> ・自衛隊雪上車による救出、集合場所への搬送 ・共和町災害弱者搬送車による放射線防護施設（保健福祉センター）への搬送
その他	<ul style="list-style-type: none"> ■共和町と自衛隊による住民救出対策の協議（ブラインド方式による図上演習）

【参加機関：10機関 参加人員：防災関係者 97人、参加住民 33人】

〇 I Lに基づく防護措置の実施単位と対応する緊急時モニタリング地点



緊急時モニタリング地点 : 79地点

- 内訳)
- ・ 測定局 : 16地点
 - ・ サーベイメータ測定地点 : 63地点

避難退域時検査場所候補地選定の考え方



◆左図のとおり泊発電所を中心とした半径30km圏からの出口となる主要道路沿いの地点、6カ所近傍で検討する必要がある

	路線名	避難路となる町村名
1	国道5号	泊村・神恵内村・積丹町・古平町・余市町
2	国道393号	仁木町・赤井川村
3	国道276号	俱知安町・岩内町
4	道道66号	共和町・二セコ町
5	国道5号	蘭越町
6	国道229号	寿都町

○道の駅や町村立公園など、一定規模の駐車スペースや敷地面積を有する公共施設を中心に各ルートごとに複数箇所を候補地とする